



# 令和2年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

大淀中学校区 令和2年12月17日(木)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わし、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

## ◆令和2年度のトークテーマ

トークテーマ ～子どもたちの未来のためにできること～

トークの柱 『大淀地区の魅力発見と住みよい地域づくり』

11年目を迎えた市長と市民の意見交換会「ふれあいトーク」。平成30年度からはトークテーマを「子どもたちの未来のためにできること」とし、子どもたちの「教育」について各中学校区単位で意見交換を実施しています。

## ◆市長から情報提供 とことん住みやすく、力強く発展するまちづくり

### ●地域の現状等を共有

①宮崎市でも人口減少が進んでおり、今後さらに人口減少が加速する見込みです。

- ・宮崎市全体の人口推移 平成27年 403,895人 ⇒ 令和47年 301,809人 (25.3%減)
- ・大淀地域自治区の人口推移 平成27年 24,223人 ⇒ 令和47年 18,316人 (24.4%減)

②若い世代の転出超過が大きくなっています。そのため魅力的な雇用創出と地元で活躍できる人材育成に取り組んでいます。

- ・宮崎市の年齢別の転入転出数をみると、15～19歳、20～24歳で大幅な転出超過となっています。
- ・市ではそのような現状に歯止めをかけるべく、企業誘致による新たな雇用の創出や、中学生を対象として県内企業を紹介する体験型進学・就職イベントなどを実施しています。

③人口減少が進むことで、地域の課題がより複雑化、多様化しています。

- ・人口減少のスピードや高齢化率、歴史・文化は地域によって異なるため、それぞれの地域の特性に合ったまちづくりが求められています。

④地域には様々な組織や団体、行政機能があります。それぞれ連携し、特性を生かしたまちづくりを行いましょう。

⑤地域活動への参加で、元気な地域コミュニティを次の世代につなげましょう。

- ・花と緑のまちづくり事業、第8回おおよど福祉まつり、中学生のための防災講座実施事業 等



▲大淀中学校区の現状や課題、市が現在取り組んでいる施策などについて、市長が説明

## ◆ フリートーク

### ● トーク参加者からの意見

- ・「災害に強い大淀」をまちづくりとして打ち出していきたい。また、中学生にも防災について地域と一緒に考えてもらいたい。
- ・大淀地区で実施している「子どもの声を聴く会」の意見が実際に生かされた例もあり、実現できる雰囲気づくりやまちづくりが大切である。
- ・大人が職業について、中学生に語ることでできる場を授業などで設けることで、一層、キャリア教育が充実するのではないかと思う。
- ・親として、子どものやりたいことに対して、耳を傾け、バックアップしてあげたいと考えている。
- ・読み聞かせ活動を中学校で行ったが、大変好評で、本とふれ合うよい機会となった。
- ・夢や希望を持てる子ども、明日をワクワクできる子どもに育ててほしい。
- ・まちづくりと学校教育が連携する活動をつくり上げることで、子ども達が将来宮崎に戻りたいと思うまちになると思う。
- ・保護者が子どもと一緒に地域活動等に参加し、関心をもってもらいたい。

### ● 中学生からの意見

- ・地域の魅力は、地域の方があいさつをしてくれること、地域の行事が盛んで参加者が多いこと。
- ・地域の課題は、街灯が足りない、ポイ捨てが多い。
- ・地域の清掃活動とイベントを組み合わせた取組として、ゴミ拾いをしながら大淀の魅力や不思議を発見できるスタンプラリーなどを行ってはどうかと思う。
- ・修学旅行を通して学んだことだが、地域の宝となる素材をPRすることが大切である。例えば、大淀の魅力をデザインした自動販売機を置いてみてはどうか。
- ・イベントや安全・安心のまちづくりに向けて、市と協力した取組が必要なので、アドバイスをもらいたい。
- ・大きな大会を開くことができる競技場をつくってほしい。
- ・プロ野球の優勝パレードを、ぜひ大淀で行ってほしい。

### ● 傍聴者からの意見（アンケートより）

- ・今後のまちづくりを大人だけでなく、中学生等をまじえて考えると良いと思う。
- ・子ども達の要望は、できる限り地域でまとめて、地域が一体となり取り組んでいきたい。
- ・一番の問題は、大学進学等で人材が県外に流出してしまうこと。その対策として、地元にもっと多くの企業が来てくれることが重要である。

### ● 市長からの回答、感想

- ・今、住んでいるところがどれだけ良いのか見出していかないと、他県に住んでも同じ状況になる。問題があれば、自分なりに解決し、進んでいく努力をしてもらいたい。
- ・地域のみなさんの繋がりで、まちづくりや自分の生活が出来ていることを知ることが重要である。その中で自分が出来ることを積極的に実行し成長して欲しい。
- ・行政としても子ども達の要望をどれだけ解決できるかが、今後、宮崎に残ってもらえるかどうかにか繋がるので、できる限り努力していきたい。



〈お問い合わせ〉

宮崎市 秘書課広報広聴室  
TEL 21-1705  
FAX 29-6547

